



やあ!

ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲家庭廃棄物があちこちに投棄されているバコ村の様子



▲バコ村の村長(右から2人目)とのプロジェクト内容の打合せ



▲美土里館でコンポスト作成技術を学ぶ研修員 (右から2人目がジェフリンさん、4人目がポーリナさん)



▲環境教育を学ぶため茂木町立中川中学校を訪問。回収したアルミ缶のプレス体験する研修員

マレーシアにおける家庭廃棄物削減のためのプロジェクト開始

地方自治体が主体となり開発途上国の発展に貢献することを目的とした「JICA 草の根技術協力事業(地域提案型)」を活用し、茂木町と TIA は、マレーシア・サラワク州クチン市の農村部における家庭廃棄物の不法投棄を削減するプロジェクトを今年度から3年間の予定で実施している。

まず5月に、茂木町、TIA、JICA 栃木デスクの担当者3名が、プロジェクトのモデル地区になっている同市バコ村を訪問し、不法投棄の状況やコンポスト作成方法などの調査を行った。次に、マレーシア側でこのプロジェクトに携わるサラワク州資源環境審議会(NREB)の職員2名(モハメッド・ジェフリン・アズラン・アブダラさんとポーリナ・アナク・ダンガットさん)が、6月20日～8月23日、研修員として茂木町に来町し、茂木町有機物リサイクルセンター美土里館でコンポスト作成技術を、また同町が実施している環境行政・環境教育を学んだ。その他、アジア学院などの関連施設での研修を通じて、家庭廃棄物の削減につながるさまざまな知識を得ることができた。

2012年9月号

No.120

Autumn

- ◆やあ! クローズアップ
- ◆国際交流団体紹介
- ◆ようこそとちぎへ
- ◆JICA 情報局

とちぎグローバルセミナー2012

あわのフラワーFC

平成24年度 AFS 留学生

平成24年度 JICA ボランティア秋募集案内

「災害時外国人サポーター養成セミナー」

日本人と外国人が一緒になって地震などの災害時にどのように対応したらよいのかを考える「災害時外国人サポーター養成セミナー」を多文化共生センター大阪代表理事の田村太郎氏を講師に迎え、7月28日(土)、とちぎ国際交流センターで開催し、23名が参加した。

午前の部は「外国人住民とともに考える災害時対応～阪神・淡路大震災から東日本大震災までをふりかえる」というテーマで講演。両大震災の外国人の被害や避難生活などの比較をはじめ、新潟県中越地震や新潟県中越沖地震を通しての外国人への災害時対応の変遷、そして今後の社会の防災力として外国人にも災害ボランティアとして活躍してもらう必要性などを話した。午後の部はグループに分かれ



▲災害時における豊富な外国人支援の経験と知識から、今後の視点を話してくれた田村氏

「災害時に心配な地域の課題は？」と「災害時に活かせる地域の資源は？」の2つのテーマを話し合い、問題点とその解決方法などを発表し、参加者同士の支援活動の輪を広げた。

「多文化共生ワンデイツアー」

日本人と外国人親子が交流をもち、栃木県への理解を深めてもらうための見学ツアー「多文化共生ワンデイツアー」が、8月1日(水)に実施された。今回は日本、ブラジル、ペルー、メキシコの計14組の親子が参加した。

一行は午前中に栃木県防災館を見学し、地震・大風・大雨・煙迷路を体験、午後は日産自動車(株)栃木工場を見学した。

参加した子どもの中には夏休みの宿題のために、メモを片手に熱心に施設職員の説明を聞く姿も見受けられた。また、日産工場では子



▲大風体験をする参加者(栃木県防災館)

どもはもちろんのこと、参加したお父さん方も真剣な表情で車が作られる行程を見つめていた。バス車内では世界の国々に関する〇×クイズを楽しみ、親子で充実した1日を過ごした。

「はじめての韓国語Ⅰ & はじめての英会話Ⅰ」

県民を対象とした初心者向けの外国語講座第一弾「はじめての韓国語Ⅰ」&「はじめての英会話Ⅰ」を実施した。

「はじめての韓国語Ⅰ」は、7月4日から9月12日までの毎週水曜日実施(全10



▲丁寧な説明のジョン・ボンギ先生

回)。講師は、韓国出身のジョン・ボンギ氏で、受講者は10名。初めて学ぶ方を対象に、ハングル文字の習得、韓国語の発音や決まり文句を学ぶほか、韓国文化・習慣の話や韓国料理の講習会も



「平成24年度新規留学生のためのガイダンス&懇親ティーパーティー」

栃木県の大学などに入学した留学1年生を対象にTIAの事業紹介、日本での留学生活のアドバイスなどを行うパネルディスカッションをメインにしたガイダンスと交流ティーパーティーを6月2日(土)にとちぎ国際交流センターで開催し、留学生・関係者合わせて70名が参加した。

ガイダンスでは、3名の先輩留学生から日本語上達の方法や地域交流に関するアドバ

イスを受け、そのあと行われた交流会では、宇都宮大学の学生による日本舞踊の披露、留学生やパネリストが日本や母国の歌や楽器の演奏を披露するなどして大いに盛り上がった。



▲先輩留学生がパネリストになり、アドバイスをを行ったパネルディスカッション

「日本語ボランティア情報交換会」

日本語を教えるボランティアの皆さんを対象とした今年度第一回となる「日本語ボランティア情報交換会」を7月27日(金)にとちぎ国際交流センターで実施した。講師は、宇都宮大学や国際交流基金日本語国際センターで講師を務める八重島^{あつき}炎氏。今回は、日本語学習者にとって混乱しやすい「あげる」「もらう」「くれる」といった授受表現をテーマに取り上げた。八重島先生の軽快な自己紹介により和やかなムードで始まり、その後、授受表現の教え方のビデオスキットを見てグループ内で話し合った。参加者は実際の日本語教室で工夫しているアイデアを披露し合ったり、失敗談などを話した。その後、例文を通して文法的決まりを見出し、整理したうえで、八重島先生より考え方のヒントを提示していただき理解を深めた。



▲八重島先生(左後方)と教え方をメモに書き出す参加者の皆さん

実施し、調理実習では「トッポッキ」、「野菜のナムル」を作り、試食した。次回のコースは、一歩進んだ韓国語を学ぶ予定で、10月3日から実施。現在、受講者を募集中。

一方、初心者向け英会話講座「はじめて英会話Ⅰ」は、6月21日から8月30日までの毎週木曜日に実施。こちらも全10回で講師はイギリス出身のマック・マコーマック氏。受講者は17名。身近な話題で会話をしたり、ゲームを行ったりと生きた日常会話も学んだ。10月4日からは、「はじめての英会話Ⅱ」を開講予定で現在受講者を募集中。



▲英会話のレッスン風景

やあ！クローズアップ

「とちぎグローバルセミナー2012」

県内の10の国際交流団体などと協働し、多くの県民に幅広い分野で国際理解を深めてもらうことを目的とした「とちぎグローバルセミナー2012」が7月7日(土)・8日(日)・21日(土)・22日(日)の4日間、とちぎ国際交流センターで開催され、バラエティに富んだ11のセミナーが実施された。

7日(土)は、グローバル・グループ主催の「グローバルカフェ」、栃木県産業労働観光部国際課主催の「アメリカと中国の本格文化」、交流会「仲間」主催の「マダガスカルはアジア？アフリカ？」。8日(日)は、デックタイグループ主催の「タイ料理教室&タイの常識・非常識」、シャプラニールとちぎ架け橋の会主催の「生産者の視点から消費を考える」、まちなか・せかいネットとちぎ海外協力NGOセンター主催の「どんなサンドウィッチが食べたい？」、TIAとJICA地球ひろば主催の「対立から学ぶワークショップ」。21日(土)は、アムネスティ・インターナショナル宇都宮グループの「非暴力でコミュニケーション」。22日(日)はカンボジアっこ支援の会主催の「カンボジアの子どもたちに未来を」、栃木県青年海外協力隊OB会主催の「世界の果てまでイッテキター！南ア&スリランカ編」、とちぎYMCA主催の「せかいとともだち！」。今年で4回目になる今回は、さまざまな国—フランス、マダガスカル、タイの3か国の料理、そしてアメリカ、中国、カンボジア、

南アフリカ、スリランカの5か国の文化—が紹介された。また、楽しいワークショップを通して世界の状況を考える内容や、国際理解教育につながる「対立」や「非暴力」とは何かを深く学ぶ内容、更に子どもと一緒に家族で参加できるものもあった。

参加者の中には、毎年このグローバルセミナーの複数のセミナーに出席し、いろいろな内容を学べることを楽しみにしているという方も多く、今回の参加者の合計は216名となった。



▲「対立から学ぶワークショップ」では、自分の対立をふりかえり、自分と相手の気持ちやニーズを考えるワークショップを実施した(中央、立っているのが講師の中村絵乃氏)

国際交流団体紹介

「あわのフラワーFC」

「あわのフラワーFC」は、ドライフラワーやフラワーアレンジメントの作成をしている地域の主婦と旧栗野町国際交流協会のメンバーが中心となり結成された国際交流や国際ボランティアを目的とする民間国際交流団体です。名称について「FC」とは、フレンドリークラブの略称です。

私たち団体の主な活動としては、地域や県内に在住する外国人の生活相談や支援、外国人ホームステイの受入れ、東日本大震災のボランティア参加、地域イベントの参加、その他に国際協力活動のお手伝いもしています。

また、地域イベントの参加に関しては、各地区で開催しているインターナショナルフェスティバルへの参加、そしてとくに私たちの「あわのフラワーFC」が力を入れているのは、県内の大学で学んでいる留学生に対するサポート活動です。県内の留学生に対しては、自由にホームステイをさせたり、一緒に食事をしたり、



▲栃木 SC サポーターと

地域イベントのボランティア参加や県内サッカーチーム応援や運営のお手伝い、日本の同じ世代と交流させることで、日本の友達づくりなど、慣れな



▲栃木 UVA サポーターとの暑気よけ

と栃木県国際交流協会が共催で行っている「県内留学生ホームステイプログラム」や宇都宮大学の留学生のホームステイプログラムでは、団体として積極的に留学生の受入れをいただいていて、参加留学生からも好評を得ています。

とかく、「国際交流や国際ボランティアは、限られた人たちのもの」という印象をもたれがちですが、「楽しくなければ、国際交流ではない」をモットーに、「いつも自然体」で活動しています。(文：会長 若林キミ)

い日本での生活がすこしでも楽しく、有意義に過ごせるよう「自分の子ども」と同じ気持ちで接しています。毎年、宇都宮大学に本部のある「栃木県地域留学生推進協議会」



▲リース作りの講習(墨田区内の小学生)

今年度の AFS の留学生が来日しました。来年の2月まで、県内の各高校で日本の高校生活を送る予定です。



▲ステファニーさん(左)とノミンさん

- ①名前(愛称)
- ②国名
- ③高校名
- ④生年月日
- ⑤部活動
- ⑥趣味
- ⑦日本に来て驚いたこと

■①ステファニー②アメリカ合衆国 ③栃木翔南高校 ④1995.6.11(17歳) ⑤茶道部、ダンス部 ⑥水泳、読書、小説を書く ⑦日本人は親切。日本語はおもしろい。日本でいろいろなことにチャレンジしたい。日本の田舎が好き。さしみや寿司が大好き。今は、ダンスが楽しいが、弓道もやったことがないので、ぜひやってみたい。アメリカの高校は制服もないし、昼は、外で食べるが、日本はお弁当。今は毎日お弁当を持って行っている。日本の子どもたちは恥ずかしがり屋。日本ではいろいろなことにチャレンジして、たくさんの友達をつくりたい。

■①ノミン②モンゴル③宇都宮中央女子高校 ④1995.1.11(17歳)⑤茶道部 ⑥射撃、写真撮影、ピアノ ⑦モンゴルには女子高がないので驚いた。宇都宮の餃子はとてもおいしい。栃木は田舎といわれたが田舎の感じはしない。日本の子供は家事をしないが、モンゴルでは小さいころから家事を手伝うので独立心が強い。モンゴルにも制服はある。日本は学校にいる時間が長いので慣れない(モンゴルでは授業は1時まで)。ディズニーランドに行ってみたい。茶道をする時のお茶碗を作ってみたい。

「TIA 携帯情報サービス」登録のご案内

さまざまなイベント情報や防災情報等を定期的にお届けしているメールサービスの登録アドレスが変わりました。新たに登録される方は下記のアドレスからのご登録をお願いします。(既に登録されている方は登録は不要です)

p-tia21jpn@b.bme.jp (日本語)

p-tia21eng@b.bme.jp (英語)

p-tia21chn@b.bme.jp (中国語)

p-tia21esp@b.bme.jp (スペイン語)

p-tia21por@b.bme.jp (ポルトガル語)

JICA 情報局

JICA ボランティア秋募集
【募集期間：10/1～11/5】

これまで皆さんが日本で経験してきたことを、海外に舞台を移して JICA ボランティアとして生かしてみませんか？

開発途上国の人びとのために、自分の持っている技術や知識を活かしてみたい！ そうした意欲を持っている方を派遣するのが JICA のボランティア事業です。

私たちができること、世界の人たちが明日への希望をもてたら。それはきっと、あなたの心も満たす素晴らしい経験になるはずです。

～行ってみよう！聞いてみよう～
『募集説明会 & 体験談 in とちぎ』
入場無料！予約不要！

【日時】10月13日(土)

【会場】とちぎ国際交流センター



青年海外協力隊 & 日系社会青年ボランティア (20歳～39歳)	シニア海外ボランティア & 日系社会シニアボランティア (40歳～69歳)
14:00～16:00	10:30～12:30

【問合せ】TIA 内 JICA 栃木デスク 028-621-0777

TIA 賛助会員募集

TIA では、賛助会員を募集しています。

皆さまからの賛助会費は、TIA のさまざまな事業に使わせていただき、地域の国際化に役立てています。

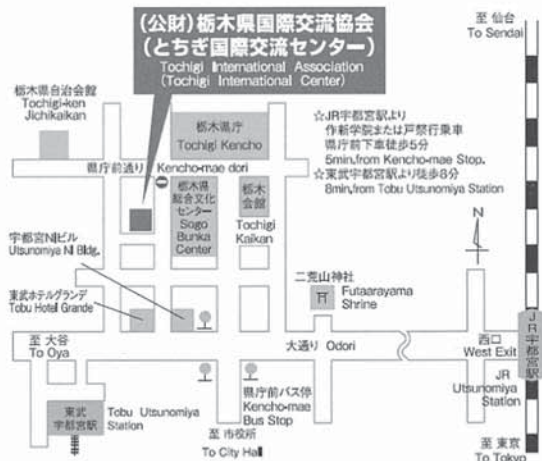
法人賛助会員にご加入いただいた企業の方々には特典として、TIA ホームページのバナー広告の掲載料を無料とさせていただきます。ぜひ TIA の賛助会員の入会のご検討をお願いします。

<会費について>

会費(年額) 法人 30,000 円 団体 10,000 円 個人 3,000 円

※TIA は公益財団法人の認定を受けており、税制上の優遇措置が受けられます。

TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日